

# ベオグラード大学における日本語ポートフォリオ作成の試み

淵上真由美 和田沙江香 (ベオグラード大学)  
mfucchi@hotmail.com saeka-elmo@nifty.com

## 1. ベオグラード大学日本語専攻課程における日本語教育の概要

ベオグラード大学言語学部東洋学科日本語・日本文学専攻課程（以下、ベオグラード大学日本語専攻課程とする）では、2009年10月から日本語ポートフォリオを活用した日本語の授業を試みる予定だが、本稿では日本語ポートフォリオ作成に至るまでの経緯とその内容について述べる。ベオグラード大学日本語専攻課程における日本語教育については、淵上・和田（2009）で詳しく述べたが、ここで簡単にまとめておく。

ベオグラード大学日本語専攻課程は、4年間で中級レベルまでの日本語と日本文学史、日本事情などが学べるカリキュラムとなっている。学習者数は1学年50名前後で、教師は日本人教師4名、セルビア人教師8名である。主教材として東京外国語大学留学生日本語教育センターの『初級日本語』、『中級日本語』を使用し、1、2年生が『初級日本語』、3、4年生が『中級日本語』で学んでいる。授業は1コマ90分で、日本語の授業は週6コマから7コマ設けられている。前期が10月中旬から12月末、後期が2月初旬から5月末までで、授業は前期に12～13週、後期に13～14週行われる。

ベオグラード大学日本語専攻課程では表1のような日本語に関係する科目があり、この他に第二外国語や哲学、心理学等の科目も学ばれている。なお、以下の科目はボローニャ・プロセス<sup>1</sup>導入後の科目で、本稿における日本語ポートフォリオは、必修科目の日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのためのものである。

表1. ベオグラード大学日本語専攻課程の主な科目（[]内はコマ数、#は半期のみ）

学年	必修科目	選択科目
1年生	日本語Ⅰ [7]・文法Ⅰ [1#]・正字法Ⅰ [0.5]・日本学入門 [2]	日本文学入門 [1#、2年次でも可]
2年生	日本語Ⅱ [6]・文法Ⅱ [1#]・正字法Ⅱ [0.5]	日本語講読 [1#]・日本文学入門 [1#]
3年生	日本語Ⅲ [5]・文法Ⅲ [1#]・日本文学Ⅰ [1]・日本文明学基礎 [1]	文章翻訳Ⅰ [1]・日本文学講読Ⅰ [1#]・正字法Ⅲ [0.5]・日本史 [1]・日本経済史Ⅰ [1#]
4年生	日本語Ⅳ [4]・文法Ⅳ [1]・日本文学Ⅱ [1]・日本社会文化史 [1]	文章翻訳Ⅱ [1]・日本文学講読Ⅱ [1#]・正字法Ⅳ [0.5]・日本経済史Ⅱ [1]

淵上・和田（2009）で行ったベオグラード大学日本語専攻課程の学習者の日本語学習に関する調査によると、大学入学時、日本語が未習の学生が多いこと、ヨーロッパの言語をいくつか学んだ学生が多いこと、日本へ行ったことのある学生が非常に少ないということがわかった。日本語の学習動機については、日本語や日本文化に興味があるという学生や、言語学習が得意あるいは好きで、ヨーロッ

<sup>1</sup> ボローニャ・プロセスとは、1999年にイタリアのボローニャでなされた、2010年までに「ヨーロッパ高等教育圏」を構築することを目指すというボローニャ宣言を進めていく過程のことである。この宣言では、「他国の大学との比較可能な学位制度の確立」、「ヨーロッパ単位互換制度の促進」、「学生、教員のヨーロッパ内の移動を可能とする環境作り」等の目標が掲げられている。

パの言語と大きく異なる日本語を学んでみたいという学生が多く、日本語を生かした職業に就きたいといった、具体的な目標を持つ学生が少ない。

## **2. ベオグラード大学日本語専攻課程におけるボローニャ・プロセス**

### **2-1. ボローニャ・プロセス導入によるカリキュラムの変化**

ベオグラード大学では、2006年度よりボローニャ・プロセスを導入したが、カリキュラムにおいていくつか変化があった。まず、試験の回数が1年に5回(6,9,10,1,4月)だったのが3回(6,9,10月)へと減り、授業時間単位も1コマ2時間から1コマ90分へと変わった。また、これまで日本語という1つの科目だったものから、文法や漢字など独立した科目ができ、選択科目も増加した。そして、これまで1回の学年末試験の成績がそのまま10段階の成績評価となっていたのが、出席、態度、2回の中間試験、学年末試験の結果を総合して評価するようになった。

### **2-2. ボローニャ・プロセス導入による問題点**

ベオグラード大学がボローニャ・プロセスを導入して、2009年現在、3年が過ぎたが、様々な問題が出てきた。まず、出席をとるようになり、出席率はボローニャ以前より上がったが、ただ出席点をとるためだけに授業に来て教室活動に参加しない学生が出てきた。また、態度点を宿題の提出率により評価する日本人講師の授業では、宿題を出せばよいと考え、学年末にまとめて提出する学生が多いという問題もある。教師の側は、授業で学んだことをすぐに復習し、身に付けてもらうために宿題を課してそれを評価に組み込んでいるが、学生の多くが態度点のための宿題ととらえてしまっているのは大きな問題である。

日本語I～IVの科目に関しては、セルビア人教師が主教材の文法をセルビア語で導入し、日本人講師が文型練習や会話を担当しているが、学生の理解度が低く、文型練習の際に他の教師が導入済みの文型を説明し直さなければならないこともあり、効率が悪く、進度も遅くなりがちである。そして、学年が上がるにつれ日本語学習に対するモチベーションが低くなる学生が増え、試験に合格すればいいと考え、学習のプロセスを軽視する傾向がある。これらはボローニャ・プロセス導入以前からある問題であるが、日本語を習得しようという強い意欲を持った学生が多くないというのが現状である。

以上の問題を解決するためには、主教材の学習項目における目標をはっきりと学生に提示し、各課が終了した時点で、日本語で何ができるようになるかを示す必要がある。そして、個人の学習のプロセスを記録し、学習者自身が学習を管理できるようにしなければならない。そこで、ベオグラード大学でも日本語ポートフォリオを作成し、それを活用して授業を進めていくことを試みたい。

## **3. 日本語ポートフォリオ作成の試み**

### **3-1. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ**

ベオグラード大学における日本語ポートフォリオ作成にあたり、欧州評議会認定のヨーロッパ言語ポートフォリオを参考にした。ヨーロッパ言語ポートフォリオは、「言語パスポート(言語能力をヨーロッパ共通の尺度で自己評価するもの)」、「言語学習記録(学習履歴や学習目標などを記録するもの)」、「資料集(学習成果などを保存するもの)」の3つで構成されているが、ベオグラード大学日本語ポートフォリオでは「言語学習記録」を主とし、主教材の課ごとの学習目標と学習記録を、初級は技能別、中級は教材別にまとめた。

### 3-2. 初級段階のポートフォリオ

初級段階は1、2年生で、これまで1年生が『初級日本語』の第1～16課、2年生が第17～28課という範囲で進めてきたが、1年生で18課程度まで進め、2年生の後半に中級段階へ進むことを目標としたい。表2に、ポートフォリオの種類と内容をまとめる。初級のポートフォリオは、到達目標をセルビア語で記載した。

表2. 初級段階のポートフォリオ（資料1～5参照）

種類	教材	内容
読む	『初級日本語』『文法練習帳（初級日本語）』	『初級日本語』本文の内容確認・音読テスト・穴埋めテスト・ディクテーション、『文法練習帳』宿題の確認
書く	『スーパーキット』『作文練習帳（初級日本語）』	文字（ひらがな・カタカナ）の確認テスト、作文（宿題）
聞く	『はじめての聴解（初級日本語）』『わくわく文法リスニング』	各課の到達目標が達成できたかを確認する聴解問題
話す	『初級日本語』	各課の文型を使った会話テスト
漢字	『漢字練習帳Ⅱ（初級日本語）』	教材のNo.ごとの読み、書きテスト

### 3-3. 中級段階のポートフォリオ

中級段階は3、4年生で、これまで3年生が『中級日本語』の第1～11課、4年生が第12～19課という範囲で進めてきたが、主教材以外の教材も有効活用し、日本語の運用能力を高めていくことを目標とする。表3に、ポートフォリオの種類と内容をまとめる。

表3. 中級段階のポートフォリオ（資料6～10参照）

種類	教材	内容
総合	『中級日本語』『短文完成帳』『文法練習帳』	文型練習、本文内容確認、音読テスト、穴埋めテスト、ディクテーション、本文の要約・本文のテーマに関する作文（4年生）、本文のテーマに関する会話テスト、『文法練習帳』宿題の確認
漢字	『漢字練習帳Ⅱ（中級日本語）』	教材のNo.ごとの読み、書きテスト
書く、話す （3年生）	『中級へ行こう』	作文（宿題）、会話テスト
聞く（3年生）	『実力アップ！日本語能力試験3級聴解問題』	日本語能力試験3級に対応した聴解問題
読む（4年生）	『速読の日本語』	スキミング、スキヤニングのスキルを伸ばす読解問題
聞く、話す （4年生）	『日本語生中継』	ディクテーション、ロールプレイ

#### 4. まとめ

ベオグラード大学日本語専攻課程には、毎年 50 名前後の学生が入学する。しかし、セルビアには日本企業が少なく、卒業後、日本語を生かした職業に就ける者はほとんどいない。また、ここ数年増えてきてはいるものの、奨学金により日本へ留学する機会を得られる者は、各学年 2、3 名程度に限られる。そのため、学年が上がるにつれ、日本語学習に対するモチベーションが下がっていくことが、大きな問題となっている。具体的な問題点として、以下のものが挙げられる。

- ・出席点のためだけに授業に来て、教室活動に参加しない学生がいる
- ・宿題を態度点のためのもと考え、学年末にまとめて提出する学生が多い
- ・復習をしない学生が多いため、導入済みの項目を繰り返し説明しなければならない

これらの問題点を改善するためには、学習者の日本語学習に対するモチベーションを高め、学習者が主体的に学習に取り組むようにしていかなければならない。

そこで、学習者が学習目標や、達成度、学習の過程を自覚しながら学習していくための道具として、ポートフォリオを作成、使用することとした。ポートフォリオとは本来、学習者の自律学習を支援していくものであるが、ベオグラード大学日本語ポートフォリオは、教師が評価する部分が大きく、学習者と教師が共同で学習を管理していく形となっている。ポートフォリオの導入により、学習目標や学習進度を明確にすることで、これまで受動的、消極的に授業を受けていた学生が、主体的に学習に取り組むことが期待される。

#### 参考文献

独立行政法人国際交流基金（2009）『JF 日本語教育スタンダード試行版』独立行政法人国際交流基金  
 渕上真由美・和田沙江香（2009）「ベオグラード大学における日本語教育」『日本語教育連絡会議論文  
 集』Vol. 21:pp. 103-110. 日本語教育連絡会議事務局

#### 教材

小林典子他（1993）『わくわく文法リスニング 99 ワークシート』凡人社  
 東京外国語大学留学生日本語教育センター（1994）『初級日本語』『中級日本語』他副教材. 凡人社  
 平井悦子・三輪さち子（2004）『中級へ行こう』スリーエーネットワーク  
 ボイクマン総子他（2006）『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編 1』くろしお出版  
 松本節子・星野恵子（2007）『実力アップ！日本語能力試験 3 級聴解問題』ユニコム  
 三浦昭監修・岡まゆみ（1998）『中・上級者のための速読の日本語』The Japan Times.  
 水谷信子監修（2007）『日本語の教え方スーパーキット 1+（プラス）』アルク

資料1. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「読む」1年生(抜粋)

	質問	音読テスト	穴埋めテスト	ディクテーション	文法練習帳
1課					
2課					
3課					
4課					
5課					
6課					
読み物 1. じこしょうかい			/	/	/
7課					
8課					

資料2. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「書く」1年生

到達目標	教材	評価(教師)	自己評価	日付
ひらがなが書ける	スーパーキット(ひらがな)			
カタカナが書ける	スーパーキット(カタカナ)			
日常生活について表現できる	作文練習帳1-②わたしのいちにち【5課】			
所在文、形容詞を使って自分の部屋について説明できる	作文練習帳1-③わたしのへや【6課】			
休みの日のできごとについてまとまりのある文章が書ける	作文練習帳2やすみの日【7課】			
自分のことを上手に他人に伝えられる	作文練習帳3じこしょうかい【8課】			
時系列に沿った行動文が書ける	作文練習帳4ハイキング(イベント)【11課】			
自分の町が紹介できる	作文練習帳6わたしの町【13課】			
自分の趣味について詳しく書ける	作文練習帳7私のしゅみ【14課】			
理由を列挙して夏休みにしたいことについて述べられる	作文練習帳8夏休みの予定【15課】			

資料 3. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「聞く」 2 年生 (抜粋)

課	ページ	到達目標	点数	自己評価	コメント	日付
17課	1	状態の「～ている」が聞き取れる				
	2	会話から必要な情報が聞き取れる				
18課	3	体の部位の名前が分かり、「～がいたいんです。」の文が聞き取れる				
	4	比較表現を理解して聞き取れる				
	5	長い説明文を、メモを取りながら聞いて、必要な情報が聞き取れる				
19課	6	物の使い方を聞いて理解できる				
	7	道案内を聞いて理解できる				
	8	インタビューをメモを取りながら聞いて、必要な情報が聞き取れる				

資料 4. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「話す」 1 年生 (抜粋)

課	到達目標<文型・文法事項>	形式	点数	自己評価	日付
1課	自己紹介(氏名、国名、職名、所属など)ができる。<NはNです。>	会話(自己紹介)			
1課	他人を紹介することができる。<この人(方)はNです。>	会話(他己紹介)			
2課	自分の物、国について紹介できる。<形容詞>	会話(自分の国)			
3課	日常生活のごく基本的な行動、その行動が行われる／行われた時と場所について言える。また、それらについて相手に聞ける。<動詞文／PlaceでV>	会話(日常生活1)			
4課	過去の事柄の説明ができる。<名詞文過去>	会話(休みの日1)			
5課	時間・場所の範囲が言える。交通手段や所要時間が言える。<～から～まで／～で行きます>	会話(家から大学まで)			
5課	い形容詞を使って過去の事柄の説明ができる。<形容詞過去>	会話(休みの日2)			
6課	自分の住んでいる環境について説明できる。<います・あります／助数詞>	会話(自分の家)			
7課	形容詞を使って詳しい説明ができる。状況の変化について説明ができる。<NはA-くて、A-いです／～になりました>	会話(自分の町)			
8課	過去にだれから、どんなものをもらったか、だれにどんなものをあげたかについて話せる。<やりもらい>	会話(誕生日)			

資料 5. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「漢字」1年生 (抜粋)

漢字練習帳No.	読み	書き	日付
No.1			
No.2			
No.3			
No.4			
No.5			

資料 6. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「総合」4年生 (抜粋)

	短文練習	質問	音読テスト	穴埋めテスト	ディクテーション	要約・作文	会話テスト	文法練習帳	日付
12課									
13課									
14課									
15課									
16課									

資料 7. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「書く、話す」3年生 (抜粋)

課	作文 (日付)	評価	自己評価	会話 (日付)	評価	自己評価
L1ファストフード						
L2地震						
L3最近の子ども						
L4インターネットの利用						
L5睡眠						

資料 8. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「聞く」 3 年生 (抜粋)

到達目標	テーマ 問題番号	点数	自己評価	日付
会話を聞いて行動の順番が分かる。	順番 1~4	/4		
会話を聞いて物の場所がどこか分かる。	どこ 5~8	/4		
道案内を聞いて場所が分かる。	地図 9~13	/5		
会話を聞いて物の形が分かる。	物の形 14~17	/4		
会話を聞いて何のスポーツが分かる。	スポーツ 18~23	/6		

資料 9. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「読む」 4 年生 (抜粋)

パート	セク ション	練習 番号	到達目標	文章タイプ	スキル	自己評価	日付
ス キ ャ ニ ン グ の 技 術 を 使 う	S1	練習1	不規則に並んだ数字を速く順番に追うことができる。	数字	速く目を動かす		
	S1	練習2	文章の中から指示された言葉を早く見つけることができる。	短文	情報取り		
	S2	練習1-3	言葉のグループから共通のトピックや仲間はずれの言葉を探することができる。	単語	トピック探し		
	S3	練習(1)-(4)	並べられた単語から伝えたい内容を推測することができる。	単語(お知らせ文)	内容推測		
	S4	練習1.2	飲食店のメニューから決められた予算内で注文するものを決めることができる。	広告(宅配ピザ)・メニュー(居酒屋)	情報取り		
	S4	練習3-6	観光のための案内から必要な情報を読み取ることができる。	観光案内(レストラン、乗り物、ツアー)	情報取り		
	S4	練習7.8	乗り物の時刻表、料金表から必要な情報を読み取ることができる。	新幹線の時刻表、料金表	情報取り		
	S4	練習9	新聞のテレビ番組表から必要な情報を読み取ることができる。	新聞のテレビ欄	情報取り		
	S4	練習10-12	情報誌や博物館案内から必要な情報を読み取ることができる。	情報誌、博物館案内	情報取り		
	S4	練習13-16	辞書を引く方法を身につけることができる。	百科事典、漢字字典	辞書の引き方		

資料 10. ベオグラード大学日本語ポートフォリオ 「聞く、話す」 4 年生 (抜粋)

課	到達目標	日付	ディクテーション	もういっぱい	ロールプレイ	自己評価	コメント
1. 貸してもら	・貸してもらうように頼める ・貸すのを断れる						
2. 予定を変更する	・予定の変更を頼める ・できなくなった理由を説明できる						
3. レストランで	・質問できる ・相手の間違いが指摘できる						
4. 旅行の感想	・感想が述べられる ・うらやむことができる						
5. 買い物	・人に何かを勧められる ・相手の意見を聞き何にするか決められる ・勧めを断れる						
6. アルバイトを探す	・新しい話題を始められる ・自分の希望が述べられる						